

わかくさ

目次

○地域から応援される学校に	1
○学芸会の感想	2
○3年生のページ	3
○12月の行事予定・生活目標	4

平成30年11月30日 No.518
西東京市立谷戸小学校 校長 野崎 信行

地域から応援される学校に

副校長 吉成 かおる



頑張っている子供たちの姿を、
もっと知ってもらうために

谷戸小では、「学校で頑張っている子供たちの姿を地域の方々にもっと知ってもらいたい」という願いからいろいろな取組みを行っています。

総勢50名の団員がいる谷戸小合唱団は、育成会が行うお祭りや、地域のお年寄りが集う場所などできれいな歌声を披露しています。朝や放課後の時間を使い、頑張って練習している子供たちの姿を知っていただくと共に、その歌声が大変喜ばれています。



年に1回開かれるお年寄りと子供たちとの歌声交流会では、これまで練習してきた曲を披露するだけでなく、一緒に唱歌を歌ったり、お話をしたりしながら、地域に元気をプレゼントする役目も果たしています。

また、昨年度から、学校行事の招待状を子供たちが書いて地域に出すという取り組みも始めました。印刷された案内状ではなく、子供たちが直筆で書いたものなら、多くの方に来校していただけるのではないかと、頑張っている子供たちの姿を見てもらえるのではないかとこの思いからです。昨年度の展示会の招待状は6年

生、今年度の学芸会の招待状は4年生が書きました。現在は、育成会の会長さん、歌声交流会で知り合ったお年寄りの方、児童館や公民館の館長さんなど子供が直接関わっている方々に出していますが、大変嬉しかったのは歌声交流会で知り合ったお年寄りの方が、毎年続けて来てくださるようになったことです。今年度の学芸会でも、「足が痛かったけれど、頑張ってきたわ」と杖をつきながら鑑賞に来てくださったり、子供たちの演技を「上手ねえ」と拍手しながら見てくださったりした方が何人もいました。

育成会の会長さんからは、「一生懸命招待状を書いてくれた子供に渡してください」とお礼状をいただきました。書いた子供たちが喜んだのはもちろんですが、学校としても大変嬉しく思いました。



地域から愛される子供たちに
地域から応援してもらえる学校に



谷戸小の子供たちをもっと好きになって貰いたい、「あの学校なら応援したい」と思って頂ける学校でありたい、と思います。そのために、これからも子供の頑張りを良さをどんどん地域にお伝えしていきたいと考えています。

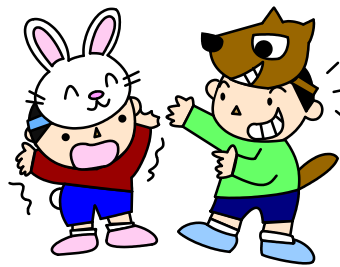
頑張った学芸会！ ～子供達の声より

(1年)

- ・「アイウエオリババ」のげきは、みんながきょうりよくしたから、いいげきになったとおもいます。
- ・れんしゅうでがんばったのは、どろぼうのうごきです。ほんばんでは、どきどきしたけど、じょうずにできました。
- ・れんしゅうでがんばったのは、大きなこえをだすことです。ほんばんでは大きなこえをだせました。大きなはくしゅをもらえて、とてもうれしかったです。

(2年)

- ・おきゃくさんがたくさんいてどきどきしました。でも、練習のように大きな声でせりふを言うことができました。おきゃくさんが、「どろぼう学校」を見て、笑っていたことがすごくうれしかったです。
- ・自分で動作を考えました。何回もやってみて、本番の動作にきめました。大せいこうしてよかったです。
- ・ほかの学年の人たちも、すごく楽しいげきでした。とくに1年生がせりふをはっきりいていたので、すごいなと思いました。



(4年)

- ・みんなが、お客さんの前で大きな声で歌っていたので、ぼくも負けないように大きな声で歌いました。
- ・同じ役、場面の人たちと相談して、意見を出し合い、実際に練習でやってみました。「役になりきれた」と思った時、いちばん楽しい、うれしいと思いました。
- ・少し動きをまちがえてしまったけど、楽しかったです。なぜかは分からないけど、たぶん全力でやりきったからだと思います。
- ・目標は自分に自信をもつこと。不安だったけど、失敗してもいいから、自信をもって演じました。
- ・「オズのまほうつかい」が終わってほしくなかったけど、最後に笑顔で終わったのでスッキリしました。

(5年)

- ・わたしは「自己紹介」のエレクトーンをひきました。初めは全然ひけなくて、右手しかひけなかったけれど、友達にアドバイスをもらってひけるようになりました。小学校最後の学芸会で、友達の大切さに気付きました。
- ・私は初めてダンスをつくることに挑戦しました。最初はダンスが本当に完成するのかな？とどきどきしていましたが、ぶじ完成させることができたので、よかったです！小学校生活最後の学芸会でしたが、くいの残らない最高の学芸会になりました！
- ・ぼくは最初、緊張なんかどうでもいいやと思っていたけど、本番近くになって緊張しました。でも小さな声で言うより大きな声で失敗するほうが良いと思い頑張りました。

(3年)

- ・6年生のげきを見て、友情を学びました。私はこれからも友達となかよくけんかをしないように気をつけたいです。
- ・練習の時は全然緊張しなかったのですが、「本番もいつも通りやればいい。」と思っていましたが、とても緊張しました。こんなに緊張するとは思っていませんでした。
- ・5年生の劇で、一人で歌う場面がすごいと思った。3年生の劇には一人で歌う場面が無いし、大きな声で歌っていた。次の学芸会では、私も主役をやりたいと思った。

(6年)

本番前日のリハーサルの時でさえ、「もうだめだ。」と思っていました。しかし、代表委員の人に声をかけられ、翌朝の7時45分に学校に行きました。すると、私よりも早く来て練習している姿が見えました。その時、それまで私の中にあつた、「私は他の人に比べて一生懸命やっている。」という気持ちがくつがえされました。そして、自分の行動を反省しました。

取り組みを通して感じたのは、学芸会で見せるのは、劇の内容だけではないということです。学芸会は、その劇を創り上げてきたプロセスでの、自分たちの物語を見せるための手段でもあるのです。

今回の学芸会は、卒業式を除いて、最後の大きな行事でした。私たちの学年は、行事に対しても中途半端に取り組む雰囲気があり、そこが課題だと感じていました。しかし、集中する時は集中するというよさもあります。この長所を、次は卒業式に向けて發揮したいと思います。

3年生のページ

3年生は、日々、意欲的に学習に取り組んでいます。様々な行事や学習を通して助け合い、協力し合いながら日々成長し続けています。今回は、その一部をご紹介します。

社会科見学

東久留米卸売市場では、マグロの解体や鮭を捌く場面を見せていただきました。ここでは、お店に品物が並ぶまでの行程などを学びました。



江戸東京たてもの園では、昔の暮らしを体験したり、昔の建物を見学したりしました。火起こしや石臼挽きなどの体験を通して、昔の人々の知恵や工夫を考えました。



火鉢を使って火起こし体験を行いました。

火のにおいをかいたり、煙があがる様子を見たりして、現代との違いに気がきました。

石臼を使ってお米を挽きました。昔の人の知恵や、労力について考え、道具の利便性について考えました。

12月の行事予定

日	曜	行事等
1	土	土曜公開 3・4校時 絵手紙(2年)
2	日	
3	月	朝会 安全指導 保護者会(5、6年) 15:00~
4	火	茶道教室(4年) 3~6校時 保護者会(1、2年) 15:00~
5	水	社会科見学(6年)
6	木	クラブ
7	金	避難訓練 8:20(集会時)
8	土	
9	日	
10	月	朝会 読書週間 水曜時程
11	火	がん教育(6年)
12	水	4時間授業
13	木	4 5 6年 6時間授業
14	金	音楽集会
15	土	
16	日	
17	月	朝会
18	火	
19	水	
20	木	クラブ
21	金	水曜時程 大掃除(2校時) 給食終了
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	終業式
26	水	冬季休業日始
27	木	
28	金	
29	土	閉庁日
30	日	閉庁日
31	月	閉庁日

今月の目標

生活	進んで外遊びをしよう
保健	冬を健康にすごそう
給食	楽しい話題で食べよう
清掃	教室の整理整頓をしよう

12月の生活目標について

生活指導部：

「進んで外遊びをしよう」

いよいよ本格的な冬がやってきます。木々の葉も落ち始め、気温も低くなってきています。寒いと、外遊びを敬遠しがちになりますが、寒い冬でも、たくさん体を動かすと、気持ちの良い汗をかくことができます。

本校では、年間を通じて外遊びや長縄・短縄、マラソンなどに取り組んでいます。休み時間には、教員も子供たちと一緒に外遊びを楽しみます。ご家庭でも放課後や休日に縄跳びや簡単な運動遊びに取り組まれてはいかがでしょうか。

外遊びを毎日行うことは、よい睡眠、よい生活習慣の形成につながります。そして、体力の向上に結び付き、強い身体をつくることができます。さらに、友達と関わりながら楽しく遊ぶことで、よい人間関係の形成につながります。

学校でも外遊びの奨励を行いますので、ご家庭でもぜひお子さんに声掛けをお願いします。

今月の土曜公開のご案内

12月1日(土) 3・4校時

スクールカウンセラー長谷川先生の12月の相談日は、4日(火)、11日(火)、18日(火)です。